



図-10 1838(天保9)年の砺波郡絵図(部分) 地図の上部(南側)は五箇山の村々があり、下部(北側)の東西を北陸道が通る。村と村、そして町とを結ぶ道も描かれ、村は組ごとに色分けされている。